

証券コード：7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

会社説明会

2022年9月21日（水）



株式
会社

鳥羽洋行

鳥羽洋行が皆様へお伝えしたい事

- ◆ 積極的な株主還元
- ◆ 生産設備の専門商社
- ◆ 独自の営業体制
- ◆ 当社の沿革 創業 1 1 6 周年
- ◆ 現状の取組みと今後の状況について

積極的な株主還元（株価・配当情報）

9/20（火）の株価・配当金予想

終値（9/20）

2,822円

今期の配当金予想

※2022年5月11日発表

120円

予想配当利回り

※配当金120円÷9月20日の株価

4.25%

積極的な株主還元（株価・配当情報）

9/20（火）の株価・PBR・PER

終値（9/20）

2,822円

P B R

※2022年3月 期純資産額より算出

0.63倍

P E R

※2023年 3月期 業績予想より算出

8.34倍

株主様への還元（株主優待）

- 株主優待は、「QUOカード」を採用しています。
- 2022年3月2日に株主優待制度拡充を発表しております。（赤枠部分を追加）



対象株主	継続保有 3年未満	継続保有 3年以上
100株以上500株未満	1,000円	2,000円
500株以上1,000株未満	2,000円	4,000円
1,000株以上	3,000円	6,000円

<QUOカード購入代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。>

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

生産設備の専門商社

私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが工場で作られています。



鳥羽洋行は、生産設備に関する
商材を取り扱う専門商社です。

機械工具専門商社の分類例

1. 販売形態による分類

- ① **直販型**
- ② 卸売型
- ③ 通信販売型

2. 取扱い商品による分類

- ① **組立**
- ② 工作機械関連
- ③ 電気部品・部材
- ④ その他

3. 販売地域による分類

- ① **広域展開**
- ② 地域限定

機械工具専門商社と表現されますが、企業ごとに特徴に差があります。

鳥羽洋行独自の営業体制

1. 販売体制

- ・ メーカー様より直接仕入、ユーザー様へ直接販売

2. 卓越した専門スキル

- ・ 各種専門資格の取得 ⇒ メーカー代行営業

3. 国内外に広がる販売ネットワーク

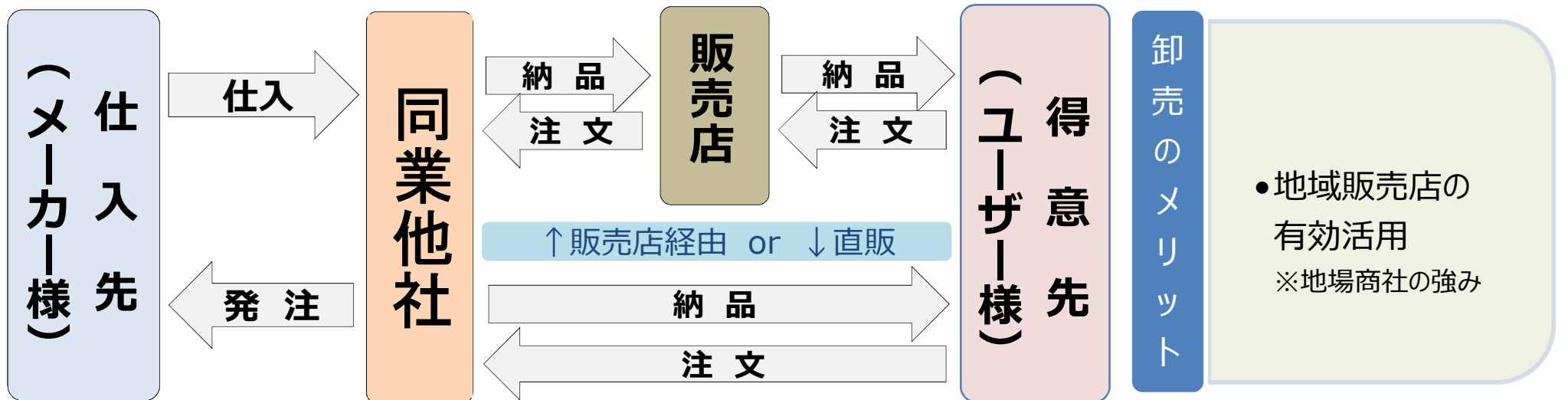
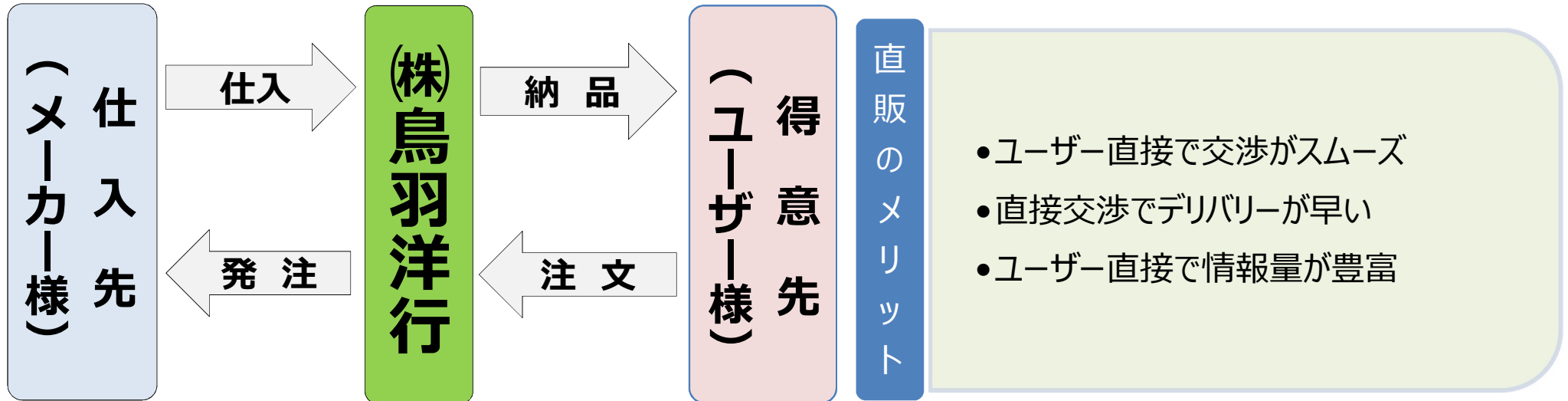
- ・ 国内22拠点、海外3カ国5拠点

4. 強固な顧客基盤

- ・ 幅広い業種の代表的な企業との信用に基づいた取引

1. 販売体制 (ビジネススタイル・商流)

- ・ユーザー様は当社に直接注文、直接問合せすることで、対応が早く、課題解決や納期の早期化に繋がり、中間工数が不要のため、コストダウン効果と業務効率化を実現
- ・『直接仕入』⇒ 仕入先様から直接製品を購入
- ・『直接販売』⇒ 得意先様に直接訪問し販売



1. 販売体制 (取扱い商品例)

<p>制御機器</p>	 <p>エアシリンダ (空気圧機器)</p>	 <p>バルブ (空気圧機器)</p>	 <p>各種センサ</p>
<p>FA機器</p>	 <p>産業用ロボット (大型・小型・協働)</p>	 <p>マウンタ (半導体・電子部品)</p>	 <p>レーザー加工機</p>
<p>産業機器</p>	 <p>電動ドライバー (組立て工具)</p>	 <p>ベルトコンベア (搬送)</p>	 <p>電気チェーンブロック (牽引・搬送)</p>

1. 販売体制（ご参考：注目商品）

< 近年注目されている商品分野 『協働ロボット』 >

協働ロボットとは、本体に安全センサーを組み込むなど、人に対する安全性を確保できるようになったロボットです。特別な安全対策を講じる必要が少なく、作業者のすぐ近くで使用できることから、導入の幅が広がっております。



ユニバーサルロボット
UReシリーズ

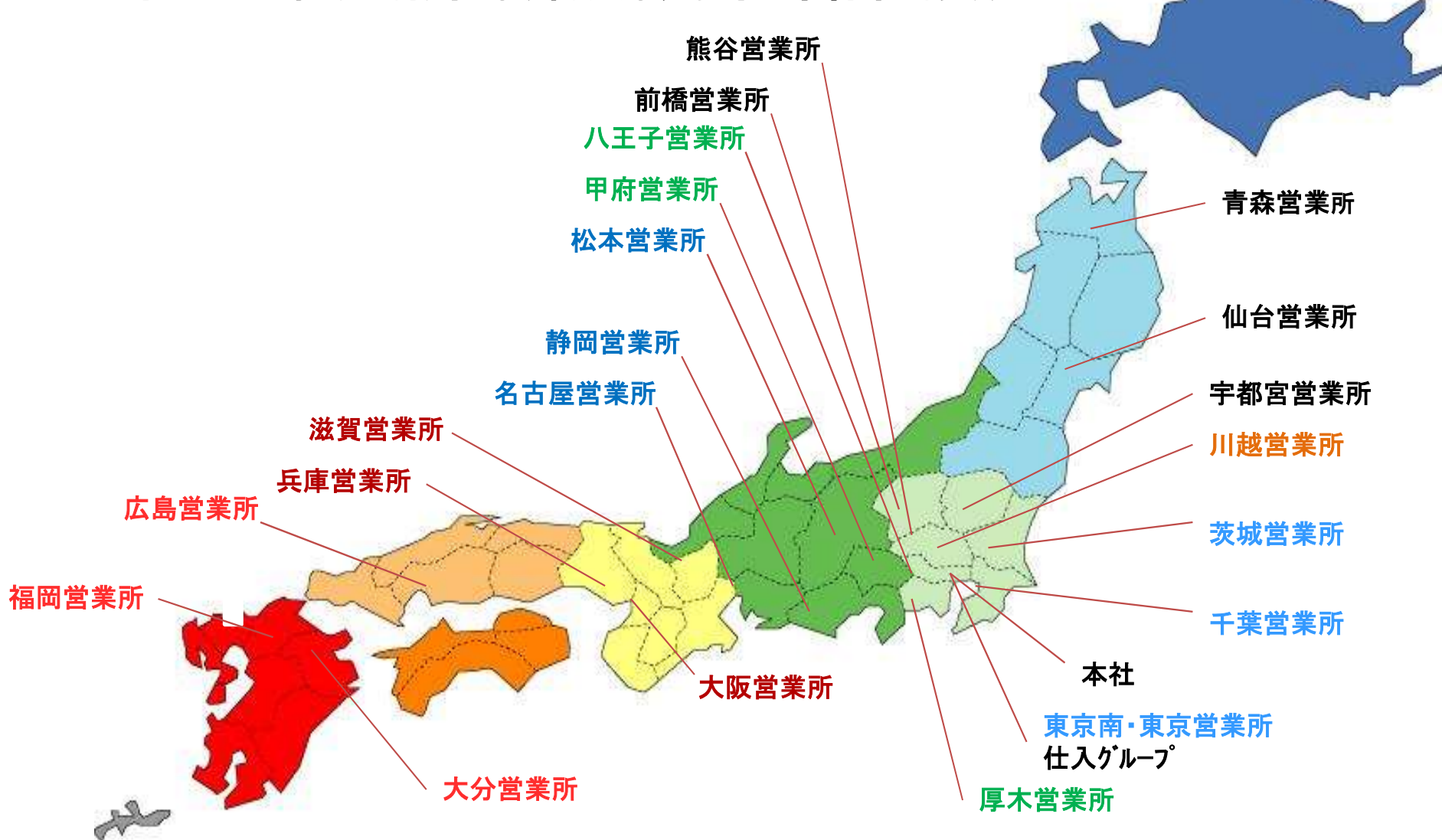


(株)デンソーウェーブ
COBOTTA

3. 国内外に広がる販売ネットワーク

国内営業拠点（22ヶ所）

全国各地に拠点を設置し、徹底したサポート体制を実現



3. 国内外に広がる販売ネットワーク

海外営業拠点（5ヶ所）



3. 国内外に広がる販売ネットワーク

海外ネットワーク



会社概要

- 社 名：株式会社鳥羽洋行（TOBA,INC.）
- 本 社：東京都文京区水道二丁目8番6号
- 創 業：1906年（明治39年）
- 設 立：1949年（昭和24年）
- 資本金：11億4,800万円
- 従業員数：【連結】291人・【単体】264人
- 販売拠点：国内22拠点・海外3カ国5拠点
- 上場市場：東京証券取引所スタンダード
- 証券コード：7472

※従業員数は、嘱託・派遣社員を含みます。2022年8月31日現在。

鳥羽洋行の沿革

昭和40年代以降は、省力化・自動化機器
(FA機器)を中心に販売展開
"FA プランナー TOBA"



昭和30年~40年代
空気圧機器中心に販売展開
"空圧のTOBA"

自動化・多様化



創業者である鳥羽真作は、中国（大連市）にて、南満州鉄道を主たる取引先として創業



創業より110年以上、国内外のモノづくりに貢献してまいりました。

1906年9月 創業
中国（大連市）

1949年12月 設立
中央区（銀座）



(旧銀座本社及び二代目社長:鳥羽実)

1995年11月
JASDAQ に上場

2008年12月
鳥羽(上海) 貿易有限公司設立

2012年5月
TOBA (THAILAND) CO.,LTD.設立

2014年7月
TOBA,INC.ハノイ駐在員事務所設立

2020年6月
TOBA,INC.(VIETNAM)CO.,LTD設立

2022年4月
市場再編によりスタンダード市場へ

グローバル展開

(現在の鳥羽洋行本社
東京文京区)



目指すべき企業像

百年の信頼を未来につなげるため、「信用第一主義」を貫き、
産業の発展と地球環境に貢献する企業を目指します。

社 是（経営理念）

- 1 当社は社会人類に貢献するためにある。
- 2 当社は社員の向上と幸福を計るためにある。
- 3 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する。
- 4 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する。
- 5 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく。

サステナビリティの取組み

サステナビリティ委員会 設置

本委員会は、代表取締役社長を委員長とし、各委員がグループ内で連携することにより、社会から信頼される企業として、ガバナンス体制を強化し、社会貢献に取組み、持続可能な社会の実現に向けて取組みます。

サステナビリティ 主な取組事項

ESG	テーマ・取組み	SDGs
環境 Environment	▶ 同業他社と差別化できる環境負荷の低い高付加価値商品の発掘	   
社会 Social	▶ 技術革新が進む産業界での当社業容の拡大できる新しい販売市場の開拓 ▶ 人への投資による既存人材の成長と将来を担う感性豊かな人材の確保 ▶ 基幹システムの更新等による業務効率と顧客満足度の向上	        
ガバナンス Governance	▶ 激動する社会情勢に対応するためのコーポレート・ガバナンスの強化	  

当社をとりまく市場環境

◆ 海外の市場環境

- ◆ 米国利上げによる経済政策により、米国経済を中心に、景気減速懸念
- ◆ 欧州経済は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化による地政学的リスクあり
- ◆ 世界的な資材の高騰や入手困難による、生産抑制や設備投資縮小の懸念

<中国経済について>

- ▶ ゼロコロナ政策による、ロックダウンは解除されたが、依然としてコロナ感染の再拡大の懸念
- ▶ ゼロコロナ政策により、スマートフォンの需要は減速してきたが、「5G」向けを含め設備投資が今後も増加していくものと予測
- ▶ 中国の自動車産業は、依然として半導体不足の影響は解消されていないが、電気自動車関連の設備投資は旺盛と予測

当社をとりまく市場環境

◆ 国内の市場環境

- ◆ 米国利上げによる記録的な円安の影響はあるが、設備投資は順調に推移する見通し。新型コロナウイルス感染症の再拡大による消費マインドの低下の可能性もあり、国内経済の先行きは依然として不透明な状況。

◆ 自動車・車載部品業界

自動車産業は、世界的な半導体不足の影響により生産を抑制される状況であるが、自動車産業全体としては徐々に回復し、特に電気自動車の規制緩和による設備投資は旺盛。更に、C A S E等の新技術への対応による設備投資で拡大期待。

◆ 半導体・液晶製造装置業界および電子部品業界

世界的な半導体不足の影響から、半導体設備装置関連への販売は引き続き好調に推移するものと予想。また、データセンターや高速通信規格「5 G」への投資についても同様に推移する見込み。

今期の戦略について

◆今期の戦略

◆次世代の柱となるユーザー開拓

- ▶ 5G 関連潜在需要の取り込み
半導体、電子部品、スマートフォン、AI・IoT、基地局、ゲーム等に関連する得意先
- ▶ 自動車・車載部品業界へ積極的に拡販（車載電池、CASE、ADAS等）
- ▶ 三品業界など自動化が進んでいない得意先への協働ロボット等、FA機器の積極販売

◆装置・システム案件の更なる拡販

- ▶ 単品販売から製造ラインの自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

◆半導体向け「ろ過フィルタ」やEビジネスでの売上拡大

- ▶ 注力商品「ろ過フィルタ」については、専任担当者を増員し拡販
- ▶ Eビジネスについては、商品の入れ替え及び拡充

◆新商材の発掘

- ▶ 各種ロボット、AGV（無人搬送車）、AMR（自律走行搬送ロボット）、各種自動機等
- ▶ 環境負荷低減商品（CO²削減）

生産設備の専門商社（大型展示会への出展）

<展示会出展報告>

- 第2回 工場の協働ロボット利活用展（東京ビッグサイト）

開催日：2022年7月20日（水）～22日（金）

当社の取扱い商品や事業内容を紹介し、商談を行いました。今後の注力商品についてもデモ機実演を交えて紹介し、具体的な引き合いを多数いただきました。今後も主要な展示会に出展し、売上規模拡大と企業価値の向上を目指します。

<出展期間の来場者数>

当社ブース来場者
登録件数

1,403件

※現在営業部門でお客様を
フォローしております。



各種協働ロボット デモ実演



2023年3月期第1四半期決算①

<連結損益計算書の概要>

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	
	1 Q	1 Q	
	実績	実績	前年同期比
売上高	7,261	7,372	1.5%
営業利益	434	430	△1.1%
経常利益	481	471	△1.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	335	325	△2.9%

2023年3月期第1四半期決算②

＜連結貸借対照表の概要＞

(単位：百万円)

	22/3月末	構成比 (%)	22/6月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	21,761	75.1	21,167	75.0	
現金・預金	10,100	34.9	9,227	32.7	
受取手形・売掛金 ※電子記録債権を含む	11,251	38.8	11,520	40.8	
商品	275	1.0	325	1.2	
固定資産	7,206	24.9	7,058	25.0	
資産合計	28,968	100.0	28,225	100.0	
流動負債	9,237	31.9	8,696	30.8	
支払手形・買掛金 ※電子記録債権を含む	8,129	28.1	8,148	28.9	
固定負債	450	1.6	443	1.6	
負債合計	9,687	33.4	9,140	32.4	
純資産合計	19,280	66.6	19,085	67.6	
負債純資産合計	28,968	100.0	28,225	100.0	

2023年3月期の業績予想（連結）

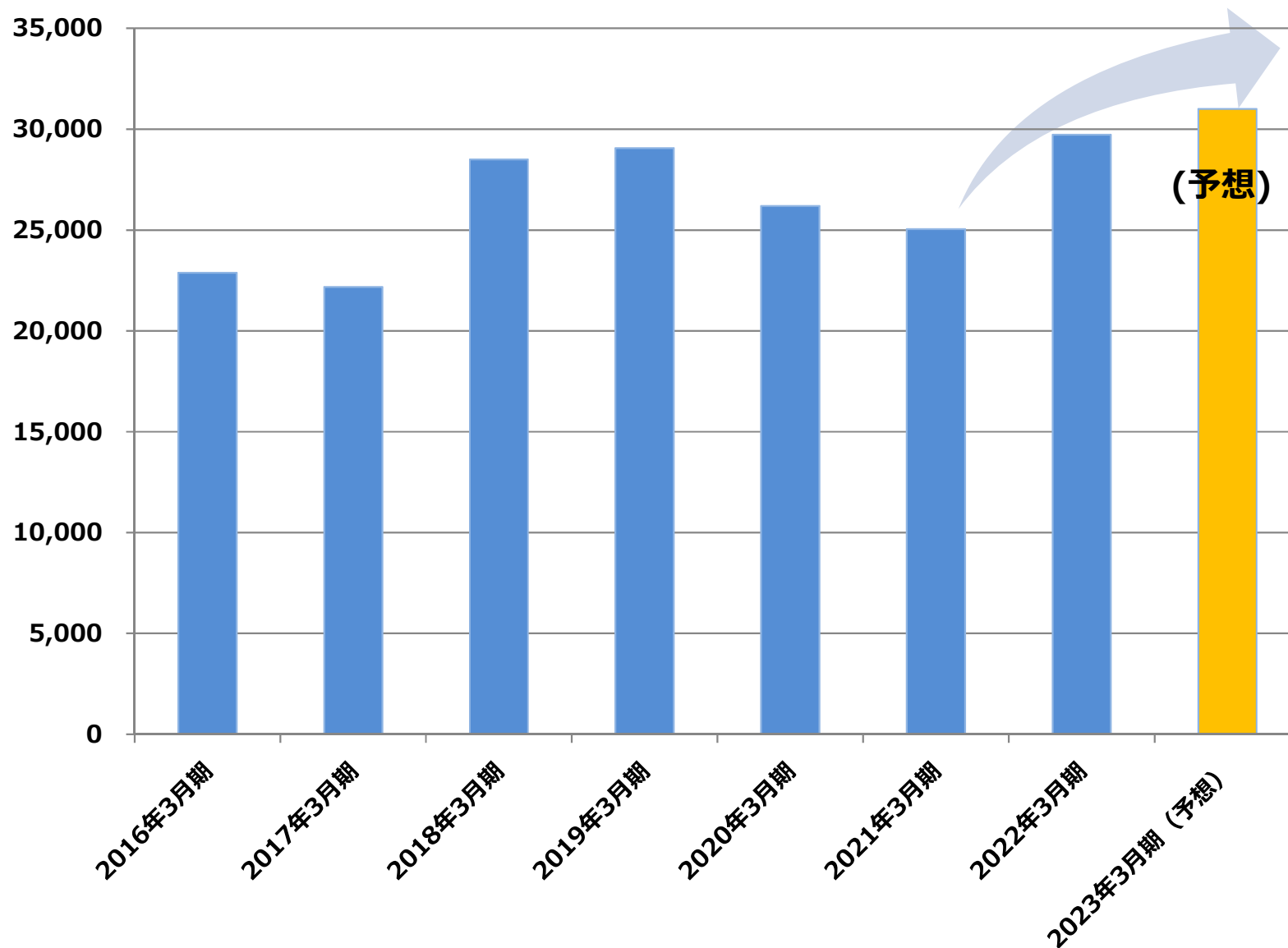
（単位：百万円）

	22/3月期 （実績）	23/3月期 （予想）	前期比 （増減率）
売上高	29,730	31,000	4.3%
営業利益	1,971	1,960	▲0.6%
営業利益率	6.6%	6.3%	▲0.3 P
経常利益	2,061	2,070	0.4%
経常利益率	6.9%	6.7%	▲0.2 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,424	1,440	1.1%
当期純利益率	4.8%	4.6%	▲0.2 P

年次 連結売上高推移グラフ

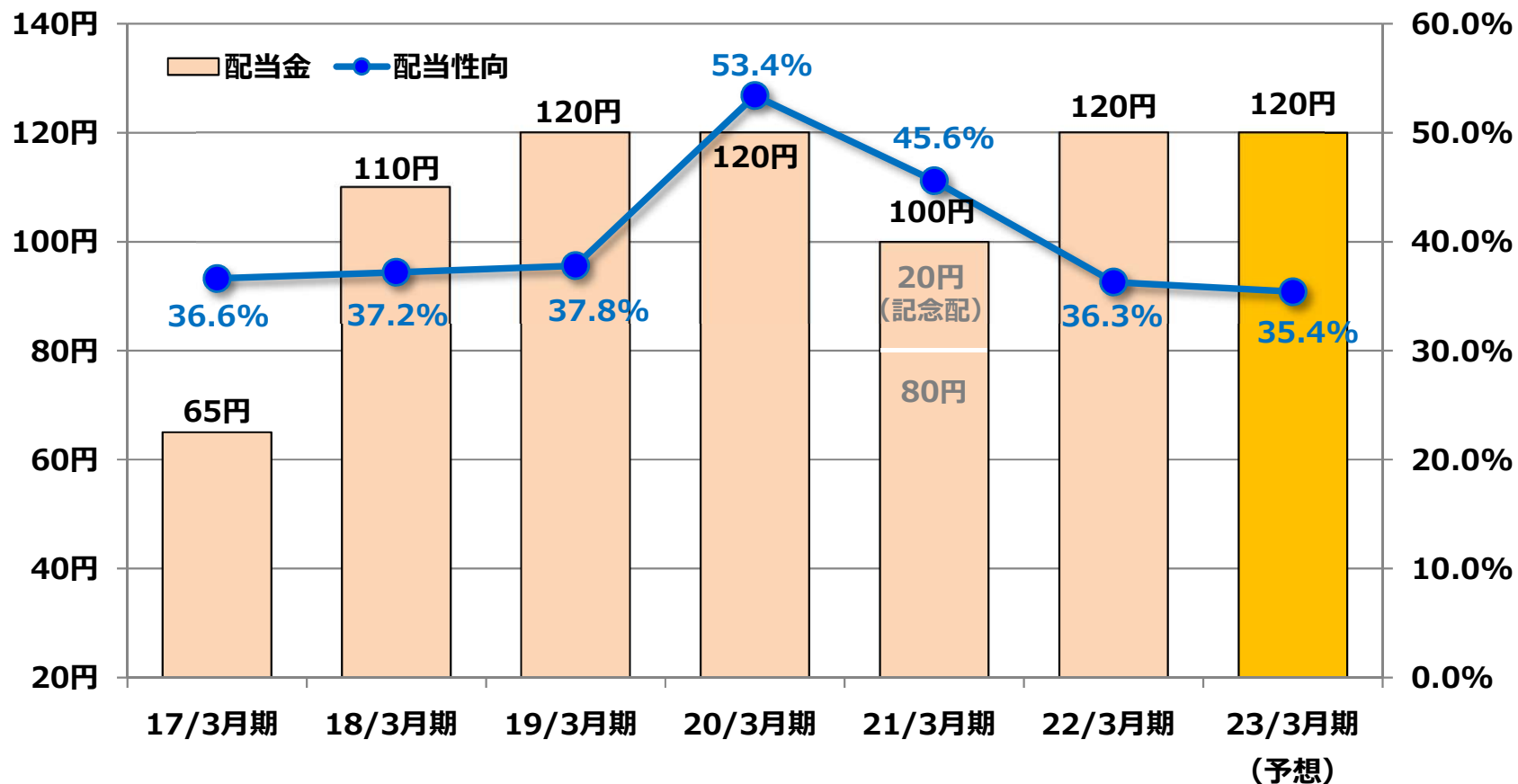
年次 売上高推移

(単位：百万円)



株主様への還元

1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※21/3月期については、創業115周年記念の記念配当金20円が含まれております。

■ 株主還元方針

- 1株当たりの配当金 **40円**下限
- 連結配当性向 **35%**以上

株主様への還元（株主優待）

- 株主優待は、「QUOカード」を採用しています。
- 2022年3月2日に株主優待制度拡充を
発表しております。（赤枠部分を追加）



対象株主	継続保有 3年未満	継続保有 3年以上
100株以上500株未満	1,000円	2,000円
500株以上1,000株未満	2,000円	4,000円
1,000株以上	3,000円	6,000円

<QUOカード購入代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。>

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

株式会社鳥羽洋行 証券コード

7472



<https://www.toba.co.jp/>

この資料には、2022年9月20日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp